



**原発や避難計画に対する県民の不安への対応について伺う。**

A 糸島市などとの原子力防災訓練に毎年新たな訓練を取り入れながら検証と改善を繰り返し、広域避難計画も適宜見直している。また、県民が正しい知識を身に着け、迷わず適切な行動をとることも重要で、「原子力防災のしおり」などを配布し、避難対象地区の方には実働訓練にも参加してもらっている。今後も関係機関との連携を密にし、県民参加の原子力防災訓練などを実施することで県民の安心・安全を確保する。



豊福るみ子  
(遠賀郡)

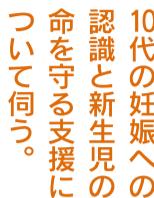
**10代の妊娠への認識と新生児の命を守る支援について伺う。**

A 国の統計では、昨年、19歳以下の出産で県内の市町村に出生届が出されたのは320人。若い世代は男女ともに妊娠などに対する基礎的知識に欠ける場合があり、正しい知識の普及が重要と考え



室屋美香  
(春日市)

ふくおか県は、市町村ごとにPTAや警察なども参加する「通学路安全推進会議」に参加し、現地点検も行いながら通学路の安全を確保するための対策を定期的に協議している。その際に「子どもの目線」を踏まえた意見も聴き、これを参考にしながら、点検項目などをまとめた「道路維持補修マニュアル」に反映。今後も子どもを含めた利用者が安全に通行できるよう努める。



井上寛  
(久留米市・うきは市)

**介護の専門家を外部講師として招聘した数と今後の活用について教育長に伺う。**

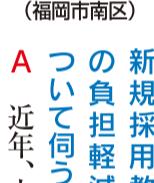
A 昨年度は県立高校9校で介護の専門家17人を招き、「介護におけるコミュニケーション技術」などのテーマで講義や演習を行つた。各学校が地域の医療機関や介護事業者などの協力を得て実施。専門家に直接指導を受けることは介護の仕事への理解を深め、学習意欲の向上に資する。今後も関係機関の協力を得ながら外部講師を活用した実践的な学びの充実と介護人材の育成に取り組む。



永島弘通  
(福岡市南区)

**特定分野に特異な才能を持つ児童生徒への支援について伺う。**

A 特異な才能のある児童生徒の中には、授業の学習内容に満足できなかつたり、人間関係で困難が生じる場合があり、特性に応じた支援に努める必要がある。各学校で特性を把握し、担任や学年などで情報共有・連携を図ることが重要。長野県をはじめ全国の先進的な取り組み事例を収集し、教職員の理解の促進を図り、特性に応じた探求的な学びや学校外での学びの場の充実に努める。



川上多恵  
(福岡市博多区)

**授乳室で搾乳できることへの周知の取り組みについて伺う。**

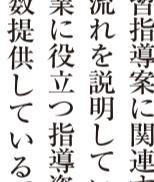
A 福岡県にこにこ家族づくりホームページで、授乳室は搾乳に使えることを知らせ、授乳室を設置している施設に名称を「授乳・搾乳室」とすることなどを働きかけている。市町村にも授乳室に搾乳ができる旨を表示するよう依頼。空港や公共交通機関、百貨店などが登録している子育て応援の店には、搾乳できることを表示する例を示した文書を出すなどして促す。



稲又進一  
(北九州市門司区)

**た市町村への働きかけについて伺う。**

A 昨年9月の国の通知を受け、市町村に対し、ごみ収集などの委託料の増加を踏まえた地方交付税措置がされていることなどを周知し、一般廃棄物処理業務の委託料に適切な価格転嫁を図るよう要請。現在、国が市町村を対象に価格転嫁の実態調査をしている。まずは調査結果を把握し、取り組みが十分でない市町村への個別面談や事業者の生の声を伝えるなど対応を促す。



中村香月  
(久留米市・うきは市)

**農泊における宿泊の事務手続きの簡素化や制度的配慮と学校行事での農泊に対し課税を免除することへの知事の考え方を伺う。**

A 令和5年に外部有識者による設定など、先進県の取り組みの時間数や回数の弾力化などに取り組むとともに、持ち時間数の上限を設置し、社会福祉士が匿名で不り組みにより母子の健康と安全を守る。

**新規採用教員の負担軽減について伺う。**

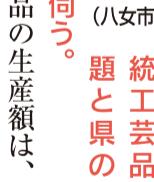
A 近年、大卒後、講師等の教職経験のない新規採用教員が増加しており、負担軽減などの一定の配慮が必要である。一方、本県では大量採用が続く中、新規採用教員に担任業務をさせない場合、担任が多数不足する



栗原悠次  
(八女市・八女郡)

**日本維新の会**

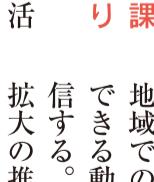
A 県民の健康増進のために実施した事業に関連して不正行為が行われたことが事実であるとすれば、誠に遺憾に思う。



新開嵩将  
(福岡市中央区)

**緑友会**

A 県議会は、県教育センターのホームページに優れた授業につながる学習指導案のデータベースを設け、約2700本を掲載している。また、学習指導案に関連する各教科の授業の流れを説明している動画も提供。授業に役立つ指導資料や学習教材を多数提供している。これらを多くの教員が積極的に活用することで、授業準備の効率化と指導の充実が期待できるため、今後も継続的に研修会などで周知を行う。



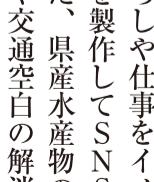
栗原悠次  
(八女市・八女郡)

**桜和会**

A 伝統工芸品の生産額は、生活様式の変化や安価な輸入品の増大、扱い手不足などで年々減少。しかし、久留米絣はじめ工芸品の展示販売、製作体験を実施。また、新商品の開発支援やインナーティン

**豊築会**

A 昨年12月に策定した「県境地域振興ビジョン」に沿って関係人口の創出や首都圏などからの移住・定住の促進を図るために、豊築地域での暮らしや仕事をイメージできる動画を作成してSNSで発信する。また、県産水産物の販売拡大の推進や交通空白の解消に向けた伴走支援などを実施。今後も関係市町や大分県とも緊密に協議し、豊築地域を含む県境地域全体の振興を図る。



戸成祥平  
(篠山郡・豊前市)

**シップの実施にも取り組んでいます。こうした取り組みを通じ、県内の伝統工芸品産業を支援する。**